

スマホ等の利用にご注意ください。

1年生の間で、スマホ等を介した友人間のトラブルが発生しています。中学校入学を機会に、お子様にスマホ等を利用させているご家庭もあるかと思いますが、使い方にも慣れ、「このくらいいいか」とか「ふざけて」という安易な判断で相手のことを考えない書き込み等をしていないでしょうか。スマホ等は保護者が契約者となり、保護者の責任でお子様が利用しているものです。使わせっぱなしにせず、適切な管理をよろしくお願いします。

学校でも、常日頃よりネットモラルについて指導して参りました。また先日は生徒指導だよりを発行し、注意を呼びかけたところです。12月には学年集会を開いてネットモラルについて指導する予定です。以下に、文部科学省発行の「考えよう家族みんなでスマホのルール」というパンフレットからの抜粋を掲載しますので、ご一読いただき、ご家庭でもご協力をお願いいたします。

知らなかったではすまされない インターネット利用に関する問題・トラブル

① ネット依存

ゲームや、インターネット上のコンテンツの閲覧、SNS等でのやり取りに、やめられなくなるほど依存してしまい、日常生活に支障をきたしてしまうことがあります。

② ネット被害

悪質なウェブサイトやアプリによって個人情報取得され、迷惑メールが届いたり、不正請求をされたりすることがあります。

③ SNS等のトラブル

言葉の行き違いや冗談の書き込みから誤解が生じ、友人関係が悪化したり、いじめにつながったりすることがあります。

④ 見知らぬ人との出会い

インターネット上には、性別や年齢を偽って近づいてくる人もいます。インターネット上で知り合った人に個人情報を教えたり、直接会ったりすることの危険性を伝えましょう。特に、中学生は取り返しの付かない被害に遭う可能性もあります。

安易な情報発信は危険です。

子供たちは様々なアプリやサービスを使っています。その中の1つがSNS（インターネット上で情報を発信し、人と人をつなげるサービス）です。

SNSでは、何げない会話がいじめに発展したり、不適切なコメントや写真等を投稿して、自分だけではなく他人にも迷惑をかけるトラブルが発生したりしています。実名で利用するSNSもあり、投稿の際には特に注意が必要です。

- ◆ 友達しか見ないと思って投稿した情報でも、インターネット上に発信された情報は、世界中の人から見られる可能性があります。
- ◆ 投稿した情報は、第三者がコピーしたり、別の場所に投稿し直したりすると消すことはできません。
- ◆ 写真には位置情報が付いていることがあり、簡単に撮影場所を特定できることもあります。

ルールを作るときのポイント

- 「ルールがトラブルから自分自身を守ってくれる」ことをきちんと伝える。
- お互いに納得できるよう、話し合って作る。
- 子供が守れるルールを作る。
- 具体的なルールを作る。
- 守れなかったらどうするか決めておく。
- トラブルがあったら保護者に相談するよう決めておく。